



「ときめきとみどりあふれる快活都市」



白井市役所本庁舎・東庁舎

白井市役所全庁が

市長あいさつ



白井市長

伊澤 史夫

このたび、念願でありました白井市役所の全庁舎が開庁します。

前年度に完成した本庁舎とこのたび完成した東庁舎、また、既存建物である保健福祉センターとが三棟で接続し、水平方向に連続するラインがとても印象的な建物となりました。

これもひとえに市民の皆様を始め、市議会、関係者の皆様方のご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

本事業におきましては、旧庁舎の耐震強度不足や各種設備の老朽化などの問題があり、平成23年の東日本大震災の際には、庁舎へ災害対策本部を設置できないなど苦い経験がありました。

このようなことを受け、平成23年度より庁舎整備の検討が始まり、市民を交えた検討組織を設置し、市民意見を取り入れた市役所庁舎整備として、建設を進めてまいりました。

全庁の開庁後におきましては、東庁舎に市民待望の印西警察署白井分庁舎が開庁し、本庁舎には、災害時の拠点機能を有する「災害対策室」を設置し、さらなる「安心・安全」を実現します。

また、「しろい市民まちづくりサポートセンター」が開設され、さらなる市民活動、市民協働が活発化されると期待しております。

この庁舎が完成し、市役所内に印西警察署白井分庁舎があり、近隣には病院、消防署、防災公園である白井総合公園、そして、今年度末には給食センターが完成する予定で、コンパクトなまちづくりと災害時における拠点施設の集約化が実現できたと考えております。

結びとなりますが、この全庁開庁を機に、より効率的な市政運営を図るとともに、これまでも増して、きめ細やかな市民サービスに努めてまいります。

議長あいさつ



白井市議会議長

秋本 享志

白井市役所の全庁開庁おめでとうございます。

かねてより耐震改修中でありました旧庁舎が東庁舎と改められ、昨年一足早く開庁した本庁舎とともに、一体感のある明るい装いの下に完成しましたこと、慶賀に堪えません。

市役所庁舎は、言うまでもなく、市民サービスの確保を第一とし、市民に親しみやすく、そして市の業務が能率的・効率的に運営されるよう、機能的でなければなりません。

この点、市役所が身体の不自由な方への配慮を始め、情報公開コーナー、売店、さらに「しろい市民まちづくりサポートセンター」として、多目的スペースや市民活動専用会議室、作業スペース等を設け、市民が気軽に来庁できる雰囲気づくりに努めるとともに、災害防災拠点、省エネルギー・再生可能エネルギー供給と環境に対しても数々の工夫を凝らすなど、細かい配慮を加えて完成されましたことは、市関係者はもとより、市民の皆さまにとっても誠に喜ばしいことと存じます。

また、私たち市民・議会の意見も大切に採り入れられ、警察署分庁舎の設置等ご尽力された市長・関係者・庁舎建設等検討委員会の皆さまに御礼申し上げます。これにより安心・安全と市民活動の拠点としてより一層の機能強化が図られ心強い限りです。

また、東庁舎最上階には新議場が完成いたしました。庁舎改修中は文化会館（かおりホール）を仮議場として開催し、多くの傍聴者を迎えることができましたが、新議場は多くの光が差し込み明るく爽やかな議場となっておりますので、こちらにも是非傍聴にお越しください。

結びにあたり、市役所庁舎が名実ともに市民の庁舎としてその機能を十分発揮され、皆さんの笑顔が溢れる場所となることを祈念してお祝いの言葉といたします。

開庁します

庁舎整備のあゆみ

平成 23 年	
7 月	白井市役所庁舎整備等検討委員会設置
平成 24 年	
3 月	白井市役所庁舎整備等検討委員会より「白井市役所庁舎の整備について（提言）」を受ける
平成 25 年	
4 月	白井市庁舎建設等検討委員会を設置する（事業完了まで 34 回開催）
6 月	基本計画・基本設計者をプロポーザル方式にて募集開始
9 月	基本計画・基本設計者を（株）I N A 新建築研究所に選定、業務委託契約締結
平成 26 年	
1 月～2 月	庁舎整備基本計画（案）のパブリックコメントの実施、住民説明会の開催
3 月	庁舎整備基本計画策定、減築＋新築での庁舎整備を決定
平成 27 年	
1 月～2 月	庁舎整備基本設計（案）のパブリックコメントの実施、住民説明会の開催
3 月	庁舎整備基本設計策定、E C I 方式での事業推進を決定
4 月	総務部管財契約課に庁舎建設準備室を新設 E C I 方式での事業推進のため、白井市庁舎整備工事技術支援業務委託の受注者（施工予定者）を プロポーザル方式にて募集開始
7 月	施工予定者を大成建設（株）千葉支店に選定し、業務委託契約の締結及び協定の締結
平成 28 年	
3 月	白井市庁舎整備実施設計完了
4 月	白井市議会臨時会において、庁舎整備工事の工事請負契約の締結を議決 庁舎整備工事着工
平成 29 年	
4 月	市役所本庁舎（新築棟）部分引き渡し 白井市役所本庁舎内覧会開催
5 月	市役所機能を本庁舎、保健福祉センター、文化センターへ仮移転、本庁舎（新築棟）での業務開始
平成 30 年	
3 月	庁舎整備工事完了、市役所東庁舎引き渡し
平成 30 年	
4 月	市役所全庁開庁式典開催

庁舎建設等検討委員会委員長あいさつ



委員長

岡野 三之

日本大学生産工学部の故川岸梅一教授を委員長にお迎えして「全ての利用者にやさしい市役所」を目指し、利用者の多い窓口を1、2階に集約配置することにより「迷わせない・歩かせない・待たせない」を実現させるために議論・検討を幾重にも重ねてまいりました。

工事期間中につきましては、来庁する市民の皆様には、不便をお掛けしたこともあったかと思われませんが、今考えれば、行政サービスへの影響を最小限にし、無事故、無災害で順調に工事が進み「市民の安全が担保された工事」だったと感じております。

白井市役所の完成後には、しろい市民まちづくりサポートセンターや多目的スペースの設置等により市民活動・市民協働がさらに活発に図れる市役所となることでしょう。

また、構造体・非構造部材・設備機器等の耐震化を図ることにより、市民を守る防災拠点としての機能が強化され、また、「減築改修＋新築」の実現により、本庁舎・東庁舎・保健福祉センターを一体化させ、白井駅からのアプローチ確保や文化センターとの連携を考慮して、南側にも出入り口を新設し、駐車場の相互利用することなど数々の利用者への利便性の向上が実現できたと考えております。

「減築工法」は、既存の建物の再利用であり、建設廃材・CO₂の削減と、ラワン材・鉄鉱石・石灰石・砂利・砂等の熱帯雨林や資源の保護に資する環境配慮型工法です。

また、国が目指す「施設の長寿命化」にも合致し、大幅なコストダウンとなりました。

最後に各委員の皆様のご検討とご協力により、滞りなく目的を達成したことに感謝すると共に、故川岸梅一教授のご冥福を祈り、ご挨拶とさせていただきます。

施設の紹介

今ある施設を最大限有効活用するといった発想から、旧市役所庁舎を減築により耐震補強し、不足する面積を新築する「減築+新築」により整備された白井市役所の全庁が開庁しました。

この庁舎には、市民待望の警察組織が設置され、しろい市民まちづくりサポートセンターの設置など今までにあった市役所機能に加え、さらに市民の皆様の利便性が向上します。

1 市民を守る防災・防犯拠点としての庁舎



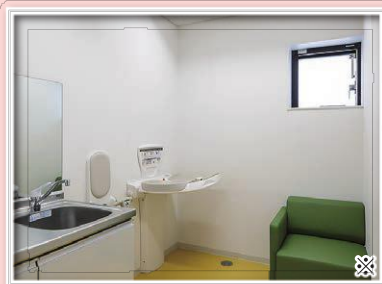
さらなる安心・安全を目指し、印西警察署白井分庁舎（白井警察センター）が開庁します。防犯や捜査部門のほか交通部門の窓口が設置され、市民の皆様の利便性向上が図れます。



停電時でも市役所機能を維持するため、バックアップ機能として72時間の電力を確保します。写真は、自家発電設備です。他にも防災拠点としての設備を整えています。

2 全ての利用者にやさしい庁舎

お子様づれでも安心してご来庁いただけるように授乳室を設置しました。お気軽にご利用ください。

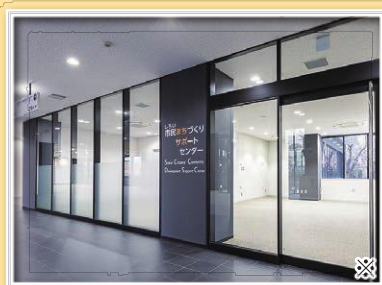


保健福祉センターへの移動の利便性を向上させるため、渡り廊下で本庁舎と接続しました。利用しやすい庁舎となっています。

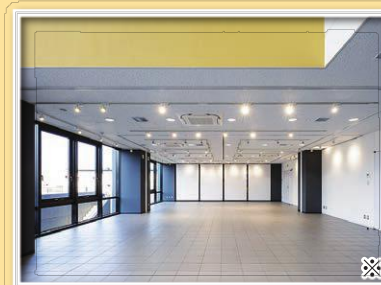


3 市民協働・市民活動に配慮した庁舎

市民協働・市民活動の拠点として、「しろい市民まちづくりサポートセンター」を設置しました。



絵画、書道、写真などの作品展示や選挙時の期日前投票所など様々な場面で使用できる多目的スペースを設置しました。



4 市のシンボルとして市民が親しみをもてる白井市らしい庁舎



白井市の特産物である「梨」をイメージした外壁の「なし壁」や本庁舎と東庁舎を外部でつなぐ「なし棚」をモチーフにした「なし棚コリドール」を整備しました。白井市のシンボルとして市民の皆様にも親しまれる庁舎を目指します。



市民の皆様の憩いの場所となるよう、本庁舎の南面に「陽だまり広場」を整備しました。ベンチには、本庁舎の建設地となった庭園の「くすの木」から切り出した「丸太ベンチ」を設置しています。

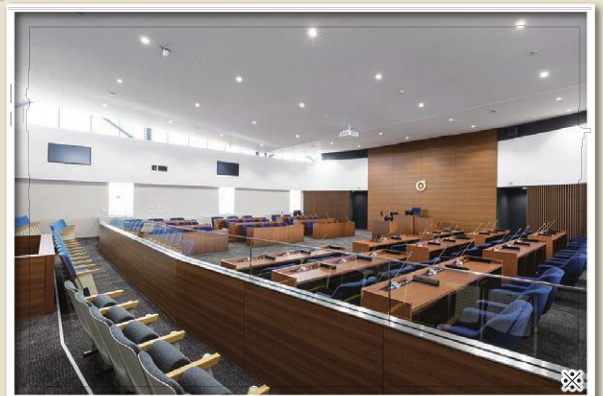
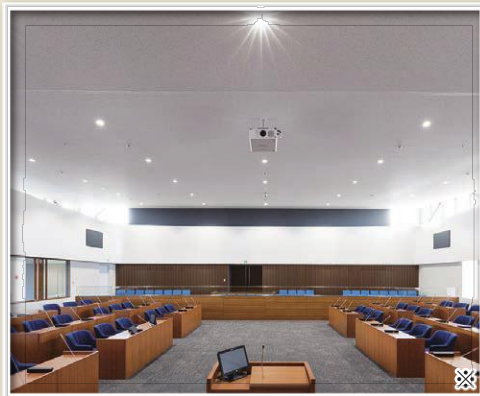


外壁とともに内壁にも「梨」をイメージした「なし壁」をつくりました。訪れた方々に安らぎを感じていただけます。

5 市民の声が集約される議会機能を確保した庁舎

傍聴者から議員、執行部の両方が見渡せる対面式の議場方式を採用しました。

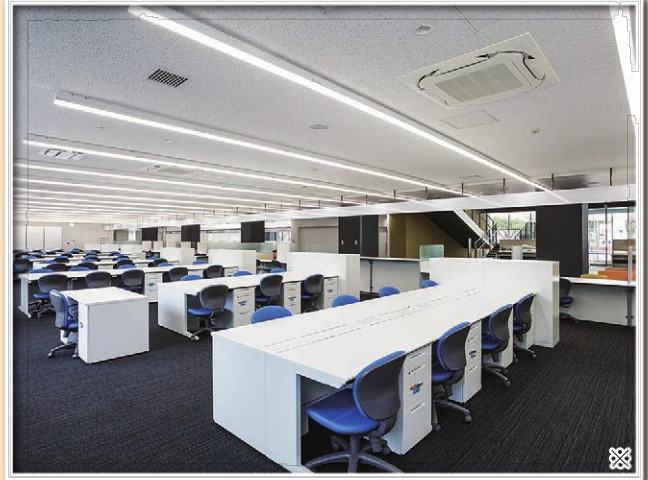
傍聴席には、車いす利用者のスペースや難聴者への磁気ループ設備を設置しました。



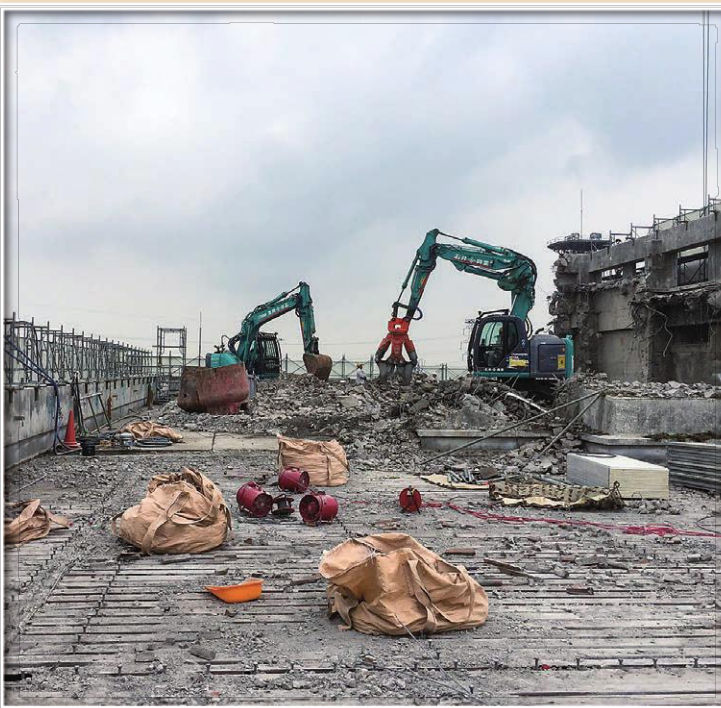
6 環境に配慮した庁舎



太陽光パネル（10kw）の設置により再生可能エネルギーを活用しています。



執務室内などに LED 照明を採用し、省エネルギー効果が得られています。



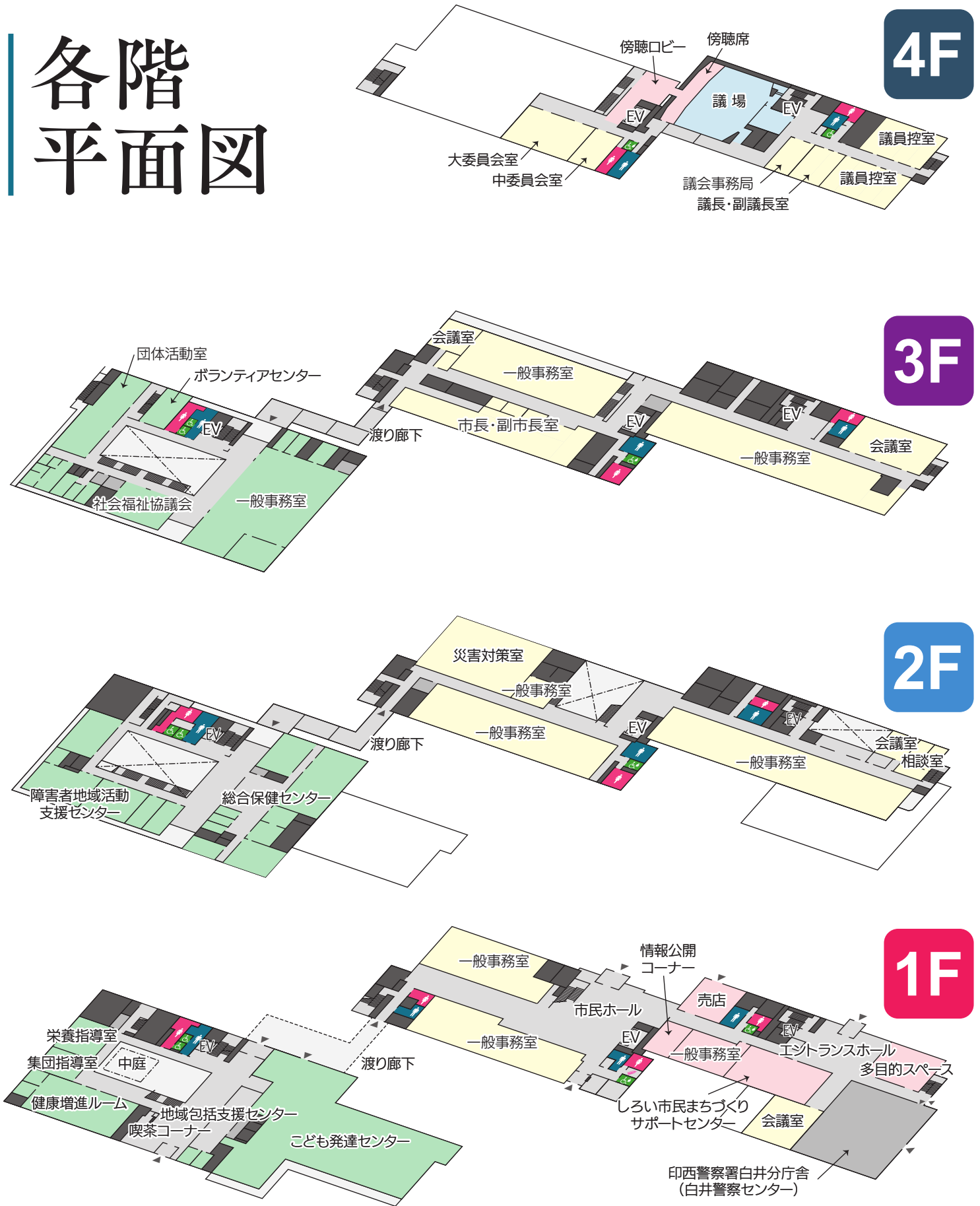
既存市役所庁舎の建物を有効活用し、耐震性能不足による耐震補強の工法に減築工法を採用しました。写真は、既存建物（旧庁舎）の減築工事の様子です。発生する廃棄物を削減することによる環境負荷低減にもつながっています。



※撮影：スタジオパウハウス

施設の紹介

各階 平面図

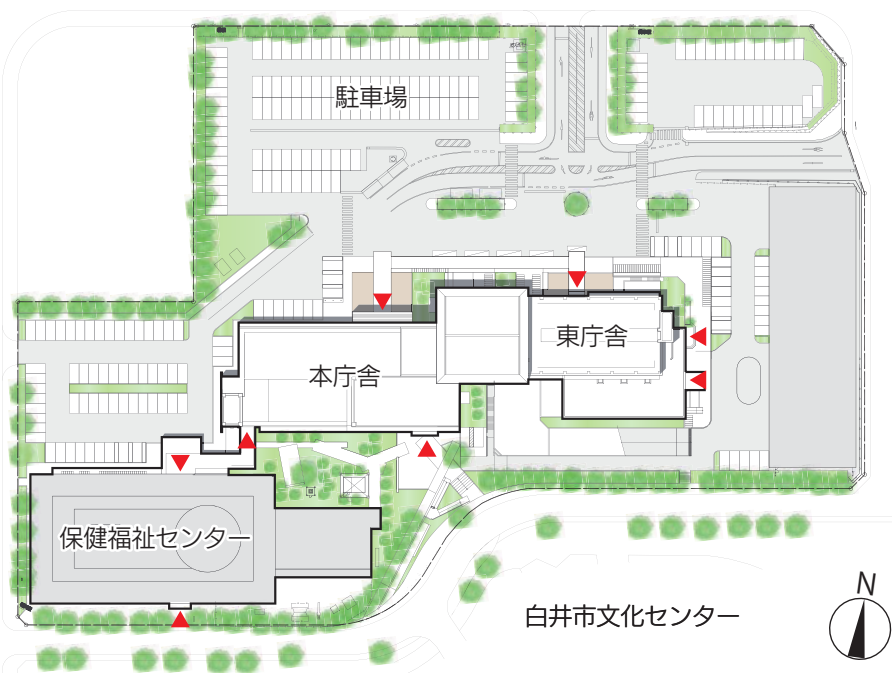


保健福祉センター

本庁舎

東庁舎

配置図



建物概要

建物名称	白井市役所本庁舎・東庁舎
所在地	千葉県白井市復 1123 番地
発注者	白井市長 伊澤 史夫
設計者・監理者	株式会社 I N A 新建築研究所
施工者	大成建設株式会社 千葉支店
建物用途	市役所庁舎
敷地面積	25,210.05 m ²
建築面積	本庁舎 1,665.29 m ² (渡り廊下含む) 東庁舎 1,597.55 m ² 合計 3,262.84 m ²
延べ床面積	本庁舎 4,665.24 m ² (渡り廊下含む) 東庁舎 5,858.75 m ² 合計 10,523.99 m ²
構造	本庁舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 (新築工事) 地上4階建て 東庁舎 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 (減築耐震改修工事) 地下1階地上4階建て
工期	本庁舎 平成 28 年 4 月から平成 29 年 4 月 東庁舎 平成 29 年 5 月から平成 30 年 3 月
総工事費	4,426,585,200 円



撮影：スタジオバウハウス